

# 福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

2026  
5月号  
May

No.487



自分たちでできる「福祉」を考える子どもたち(砺波市立砺波北部小学校)

## 目次

## CONTENTS

### 特集 P2~3 ともに生きる力を育むために! ~地域とつながる福祉教育~

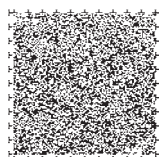
県福祉人材センターから P4

知っておきたい福祉情報 社会福祉施設経営相談室から  
あかいはねトピックス P5

ボランティアグループ紹介  
令和8年度介護支援専門員実務研修受講試験のお知らせ P6

ソウェルクラブのご案内 P7  
とやま介護テクノロジー普及・推進センターからのお知らせ

フリートーク  
富山県東部生活自立支援センター  
~移転および相談窓口変更のお知らせ~ P8  
寄付報告/編集後記



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」  
または「Uni-Voice Blind」を使えば  
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。



この広報誌は共同募金の助成を受けています。

# ともに生きる力を育むために！ 地域とつながる福祉教育

福祉教育とは「思いやりの心をもって、ともに育ち、ともに生きるための福祉のこころを育む」ための様々な取り組みのことです。これらを通して地域の福祉課題をわがごととして捉え、地域全体・住民全体で考えていく福祉観を醸成することが福祉教育には求められています。

今回の特集では、学校等教育機関にとどまらず、社会福祉法人・福祉施設・地域住民・企業など多様な主体との協働による「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」に向けた福祉教育の実践について紹介します。

## 福祉教育の実践事例

### 砺波市社会福祉協議会の取り組み

砺波市社会福祉協議会では、学校での出前講座を中心とした福祉教育に力を入れています。実践内容や子どもたちの変化について、担当者に話を聞きました。



砺波市社会福祉協議会  
濱島 小春 さん 石田 翔太郎 さん

### プログラムを軸に 福祉教育を実践

石田さん 砺波市社会福祉協議会では、第4次地域福祉活動計画(令和3年度～7年度)において、市民の福祉や地域への関心の低さ、地域と子ども関わり希薄化といった課題を背景に、重点取り組みの一つとして「福祉教育の充実」を挙げていました。

これまでも砺波市社会福祉協議会では福祉教育に取り組んできましたが、より効果的な推進を図るため、令和4年に障がい当事者、教育・福祉関係者、地域住民などで構成する「福祉教育推進検討委員会」を立ち上げ、福祉教

### 福祉教育の実績(令和4年度～令和7年度)

実施年度	実施校数	のべ実施回数
令和4年度	7校	15回
令和5年度	6校	18回
令和6年度	7校	28回
令和7年度	6校	38回

※福祉教育地域指定推進事業での実施を含む

育の基本方針やプログラムを作成しました。令和6年3月には、福祉教育プログラムをまとめた冊子を市内の小・中・高等学校および支援学校に配布しました。これにより、社協がどのような学びの場を提供できるかを学校側に

具体的にイメージしてもらいやすくなり、一定の方向性を共有したうえで授業を企画実施できるようになりました。その結果、授業回数の増加や、学期をまたいだ継続的な実践につながっています。

### 総合的な学習の 授業での取り組み

**対象校**  
砺波市立砺波北部小学校

**対象クラス**  
3年生2クラス

**期間**  
2学期(10月)～3学期(2月)

濱島さん 砺波北部小学校では、これまでも福祉の講義や調べ学習、疑似体験などを行っていましたが、内容によっては「大変」「かわいそう」といったマイナスの福祉観につながる懸念がありました。そこで令和7年度は、子どもたちが福祉をより身近に感じられるよう、地域の地区社協を拠点とした福祉教育を実践しました。介護予防の体操やふくし力フェの見学を通して地域の高齢者と交流する中で、「楽しそう」といった声も上がり、福祉への興味や

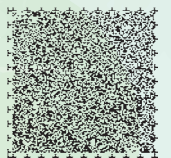
関心の広がりが見られました。その後も、児童の希望により、地域での福祉活動について質問する機会や他地区の活動を知る機会を設けるとともに、子どもたちに馴染みのある放課後児童クラブも福祉の一部であることを伝えました。こうした取り組みを通して、子どもたちは福祉を自分ごととして捉え、自分にできることを主体的に考える姿が見られるようになりました。



地域福祉コーディネーターに質問する子どもたち

### 全体を通しての児童の感想

●福祉を知ったばかりの時は責任の重い重要な仕事だと思っていたけれど、肩たたきでも相手思いやってくれることが福祉につながると分かった。



●福祉は大人がするもの、お年寄りが受けるものと思っていたけれど、自分たちができることもあり、逆に受けているものもあると分かった。

対象校  
砺波市立庄南小学校

対象クラス  
5年生1クラス

期間

1学期(4月)～2学期(12月)

石田さん 庄南小学校では、「地域を元気にしている人について学びたい」という思いを出発点に、子どもたち主体の福祉教育に取り組みました。地域福祉コーディネーターや民生委員、サロンの代表者などに児童自ら連絡を取り、話を聞く機会を設けました。社協職員は、情報提供や関係者をつなぐ役割を担いながら、学びを支えました。



地域の方々と笑顔でコミュニケーション

話を聞く中で、地域で開かれている「ふれあいいきいきサロン」

への関心が高まり、より詳しく知りたいという声が挙がりました。中野地区のサロン見学をきっかけに、「自分たちも地域を元気にする活動をしたい」という思いが生まれ、マッサージュや脳トレなどの交流活動をグループごとに企画。実際にサロンや各地区で実施し、参加者の反応や意見をもとに内容を改善しながら、最終的には学校に3世代を招いたイベントを企画・開催しました。



サロンの参加者に質問する子どもたち

イベント後には、「学校全体で取り組み、文化のようにしていけたら」「将来、自分が高齢者になったら」とも続いている。この地域にいてよかったと思える取り組みにしたい」といった声が聞かれました。福祉を学ぶだけでなく、地域への愛着が育まれたことも、この取り組みの大きな成果となりました。

○問い合わせ先

砺波市社会福祉協議会

砺波市幸町8-17

TEL 0763-332-0294

富山県福祉教育推進員ネットワーク会議を開催しました

富山県社会福祉協議会 富山県ボランティアセンターでは、多様な主体と協同した福祉教育の展開と、福祉教育を効果的かつ継続的に推進することを目的に、「富山県福祉教育推進員ネットワーク会議」を令和7年11月21日(金)に開催しました。初回は「福祉教育推進プラット

今後の福祉教育実践の展望



富山県福祉教育推進員ネットワーク会議アドバイザー 富山福祉短期大学 鷹西 恒 教授

地域の中での関わりを通して「身近なもの」「自分にもできること」として理解していく様子は、福祉教育の大切な成果といえます。地域の人の出会いや交流体験が、学びを深める大きな力になっていくことでしょう。

一方で、学びの成果をどのように振り返り、共有していくかという視点も重要になります。子どもたちの気づきや変化を、成果として積み重ね、次の実践へどうつなげていくのかを整理することで、より多くの地域で活用できる取り組みへと発展していくのではないのでしょうか。

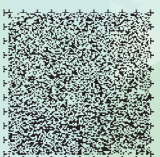
現在、インクルーシブ教育の広がりとともに、「心のバリアフリー」を大切にした福祉教育への機運が高まってきています。障がいと個人の課題としてではなく、社会との関係の中で捉える考え方を教育現場に浸透させ、交流や共同学習を通して、多様性を

プラットフォームを構築するとともに、プログラムの企画立案・実施・評価を進めるための協議の場として新たに設けたものです。今後も引き続きこのような場を設け、福祉教育のさらなる推進と体制の構築を図っていきます。

尊重する学びにいかにつながっていくかが重要になります。

学校には地域共生社会構築のためのプラットフォームとして、地域コミュニケーションを活性化し、共助の精神を浸透していくことが期待されています。今後、それらの学びを通して地域の課題解決に取り組みサービスラーニングの創造や、各教科、総合的な学習と結びついた幅広いプログラム展開が重要になるでしょう。

ジョン・デューイ(教育哲学者)は、学校を小さな社会と考へ、様々な経験から学ぶ教育を提唱しました。福祉教育が、福祉の外在化他人事として捉えるや、貧困な福祉観の再生産(かわいそう)に陥ることなく、グールな経験の場として、地域社会に「共生の文化」を育んでいくことを強く期待しています。



# 県福祉人材

センターから

人材センター公式  
LINE アカウント

登録は  
コチラ!



## 福祉のお仕事フェア in TOYAMA 2026を開催します!

- 目的 福祉の事業所と求職者が一堂に会し、事業所の管理者などから運営方針、仕事内容、待遇などについて面談する機会を提供します。
- 対象
  - 求職者:(履歴書不要、参加費無料)  
福祉職場に就職を希望する一般求職者、2027年3月卒業予定の学生
  - 求人事業所:(事前の申し込みが必要です)  
現在求人中または2027年4月採用予定のある法人など
- 会場 富山国際会議場

福祉・介護分野	児童・保育分野
7月25日(土)	7月26日(日)



昨年度のお仕事フェアの様子

### はじめての福祉の仕事サロンを開催します!

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がていねいにお答えします。

- 対象 福祉・介護分野に興味・関心のある求職者の方
- 日時 5月28日(木) 13:30~16:00  
6月25日(木) 13:30~16:00
- 会場 県総合福祉会館(サンシップとやま) 研修室502
- 定員 10名(先着順)



※開催日の3日前までに右記QRコードよりお申込みください。

### 県内ハローワークにて出張相談をおこなっています!

県内6か所のハローワークで、「福祉・介護のお仕事相談コーナー」を開設しています。キャリア支援専門員が、就職活動のアドバイスや、求職者にふさわしい職場の開拓と事業所への助言を行うことにより、円滑な就労・定着を支援します。

<相談コーナー開設日>		砺波	ハローワーク砺波 毎月 第2・第4金曜日
高岡	ハローワーク高岡 毎月 第4火曜日	小矢部	ハローワーク砺波 小矢部出張所 毎月 第3木曜日
魚津	ハローワーク魚津 毎月 第1・第3水曜日 ※5月はGWのため、第2・第3水曜日に変更となります。	滑川	ハローワーク滑川 毎月 第3火曜日
		氷見	ハローワーク氷見 毎月 第1木曜日

参加希望  
問い合わせ先

県社協 県福祉人材センター  
県保育士・保育所支援センター  
☎076-432-6156

【開所日】月曜日~金曜日  
(土・日・祝日および年末年始を除く)  
【受付時間】8:30~12:00 / 13:00~17:00

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和8年度

## ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
コチラから  
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

ケガの補償	基本プラン		天災・地震補償プラン	
	死亡保険金	1,040万円	死亡保険金	1,040万円
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
手術 保険金	入院中の手術	65,000円		
	外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷	×		○
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
	年間保険料	350円		500円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入れ替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

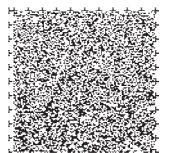
●この案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区麹町3丁目3番2号 新麹が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



(SJ25-09878 より抜粋)

社会福祉施設経営相談室から

## ホットドッグを詰まらせ一億円の損害賠償

大坪 健(弁護士)

一 千葉県四街道市の保育所で三才二ヶ月の男児がホットドッグをのどに詰まらせ、低酸素性脳症で寝たきり状態になってしまった事件につき、本年一月二十八日に最高裁判所は保育所側の上告を退けました。

この結果、一億円の損害賠償を命じた東京高等裁判所の判決が確定したのです。

二 東京高裁の判決の要点は以下のとおりです。

・消費者庁は「食品による子どもの窒息事故に御注意ください!」との報道で、平成二二年から五年間の一四歳以下の子、食品による窒息死事故が一〇三件あり、そのうちパン類(ホットドッグなど)によるものが四件あったことや事故が起きた食料は、使用しないことが望ましいと指摘している。

・米国小児科学会は、一〇歳未満の子どもが毎年七〇人前後死亡しており、その原因食品としてホットドッグが最多であることを紹介し、子どもに与える場合、縦に

切断するか、非常に小さく切り分けること、ホットドッグの皮を除去することを勧めている。

・日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会も、ソーセージは表面が滑らかなために飲み込んで窒息につながる可能性があるとし、調理方法として縦半分に分けることを推奨している。

・本件保育所の危機管理マニュアルには、ホットドッグについては全く触れられず、ホットドッグを児童に与える危険性や提供方法について、調理担当者や保育士に対する周知がなされていなかった。その結果、ホットドッグを小さく切り分ける、ウインナーの皮を除去するなどの配慮もなされず、この点において、本件保育所の所長等の管理職員は職務上の注意義務に違背したと言わざるを得ない。

三 ホットドッグは提供しない。もし提供するなら極く小さく切り分けて下さい。

## あかいはね トピックス



### 令和7年度赤い羽根 共同募金運動の募金 実績について

令和7年度の共同募金運動に対し、県民の皆様のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、3月31日現在の募金総額は

162,216,422円

となりました。

関係者一同心から厚くお礼申し上げます

### 令和7年度 募金実績 (3/31現在)

一般募金	131,155,418円
地域歳末	20,121,172円
NHK歳末	10,939,832円
合計	162,216,422円

### 赤い羽根共同募金の 助成先が決定しました

昨年度中に県民の皆様から寄せられました赤い羽根共同募金の助成先が決定しました。今回、一般助成決定を受けたのは、15施設・163団体1億217万円となりました。主な内容は、地域課題の解決や地域住民の生活を良くすることに取り組みボランティア団体等の活動、福祉関係団体や社会福祉協議会の各種事業など、地域福祉を推進するうえで大切な事業への助成です。助成を受ける施設・団体名、助成金額、事業の一覧は本会ウェブサイトに掲載しておりますのでご覧ください。

### 昨年度中にお寄せいただいた共同募金の助成決定結果 (令和8年度実施事業へ)

(単位:千円)

社会福祉施設の各種事業に	15件	5,531
福祉関係団体の各種事業に	147件	27,868
児童・母子福祉	32件	5,720
障害者福祉	36件	7,182
高齢者福祉	12件	2,380
保健福祉	8件	1,420
住民全般福祉	59件	10,798
社会福祉協議会の地域福祉推進事業に (高齢者福祉・障がい者福祉・住民全般福祉などに)	16件	69,141
助成合計	178件	102,172

### 中央競馬馬主 社会福祉財団助成事業 申請受付のお知らせ

本会では、中央競馬馬主社会福祉財団が助成する、施設整備等の事業について、助成申請を受け付けます。

#### 1 対象団体

・社会福祉法人・社会福祉事業を行っている公益財団法人・公益社団法人・NPO法人等

#### 2 対象事業

・令和8年度に実施する、福祉車両・送迎用車両、特殊浴槽等備品の購入や、施設の設定、増改築及び各種修繕工事等

#### 3 助成率

・対象事業費の4分の3以内

#### 4 今年度富山県助成枠

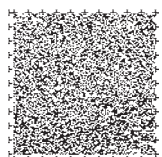
625万円

#### 5 申請書受付締切日

・令和8年5月15日(金)必着  
詳しくは本会ウェブサイトをご参照ください。

#### お問い合わせ先

(福)富山県共同募金会  
076-431-9800  
ウェブサイト  
<http://www.akaihane-toyama.or.jp>



ボランティア  
グループ紹介

自分たちの地域は自分たちで守る！  
雪の目の出動に備える除雪隊

高畠除雪隊(朝日町)

雪が降った日でも、朝日町南保地区の住民が安心して普段の暮らしを送れるよう除雪作業を行う「高畠除雪隊」。平成26年に結成され、現在は18名の有志が力を合わせて活動しています。



(写真左から) 越間 勝俊さん 小坂 外良さん 現隊長 土井 吉雄さん

発足のきっかけは、降雪によって生じるさまざまな課題でした。スーパー農道と県道の交差点に残る大きな雪の塊、消防団屯所や避難所へのアクセス確保、ごみ収集所の除雪など、日常生活と緊急時の両面で欠かせない役割を担っています。

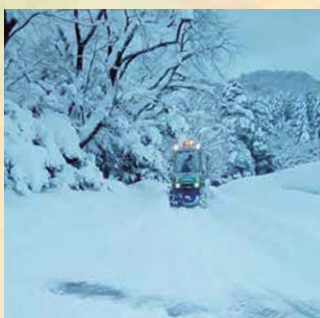
活動期間は12月から3月までの4か月間。土日や正月も関係なく、多い年には20〜30日ほど出動することもあります。シーズン前には練習会や話し合いを行い、除雪車の操作方法や危険箇所の確認を徹底。期間中は1日2名以上でシフトを組み、前日に担当者同士で打ち合わせをしたうえで、当日朝7時頃から作業を開始します。こうした隊員同士の綿密な連携と入念な準備が、円滑かつ安全な除雪活動を支えています。



今年の冬に備えて保管されている除雪車

使用する除雪車は、町から貸与されたグレーダーとロー

タリーの2種類。操縦には特殊免許が必要なため、隊員たちは講習を受けて技能の習得に努めています。昨年は4名が新たに免許を取得しました。将来を見据え、地域住民に参加を呼びかけながら担い手の確保・育成にも力を入れています。



除雪作業の様子

さらに、隊員の多くは春から秋にかけて有害鳥獣対策の電気柵の見回りにも携わり、除雪活動とあわせて一年を通じて地域を見守っています。「自分たちの地域は自分たちで守る」。その思いを胸に、これからも地域の安心安全な暮らしを支えていきます。

○問い合わせ先

朝日町ボランティアセンター

TEL 0765-83-1002

令和8年度富山県介護支援専門員  
実務研修受講試験のお知らせ

県社会福祉協議会(県社協)では、県より介護支援専門員実務研修受講試験に係る実施機関として指定を受け、次により試験を実施いたします。

1 試験期日

令和8年10月11日(日)

2 試験会場(予定)

富山県農協会館、  
ポルファートとやま

3 要項配布期間

令和8年6月1日(月)  
〜6月30日(火)

4 要項の配布場所等

(1) 配布場所

県社協県福祉カレッジ、  
県高輪福祉課、県内の市町村(介護保険担当課)など

(2) 郵送希望の場合

封筒の表面に「受験要項希望」と明記の上、返信用封筒を同封して、県社協県福祉カレッジまで送付する。  
返信用封筒(角2封筒)には宛先を明記し、270円分の切手を貼付する。  
(6月19日(金)消印有効)

5 受験申込書受付期間

令和8年6月1日(月)  
〜6月30日(火)

【郵送(簡易書留)の場合】  
締切日までの消印のあるものに限ります。

【持参の場合】

・受付時間  
8時30分〜17時15分まで  
・受付場所  
県社協県福祉カレッジ  
(県総合福祉会館2階)

6 受験手数料

11,000円(郵便振替)

7 問い合わせ・封筒送付先

〒930-0094

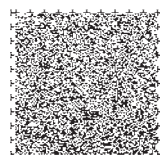
富山市安住町5番21号

県社協県福祉カレッジ

TEL 076-432-6560

(介護支援専門員実務研修受講試験専用)

※問い合わせは、土・日・祝日を除く、9時から17時の間をお願いします。



## ソウエルクラブのご案内

ソウエルクラブ富山県事務局では、会員同士や家族間のふれあいの促進、心身のリフレッシュなどを目的に、会員交流事業として、さまざまな旅行やイベント企画を実施しています。

令和7年度は、県内でのグルメ企画や県外の日帰り旅行・宿泊旅行等11企画に延べ536名の会員・ご家族の方々にご参加いただきました。

参加された皆様からは、「高くて普段なかなか行けないところに来ることができて大満



事業所対抗ボウリング大会&交流会

足」「自分でチケットを手配する手間が省けてとてもよかった」「来年度も参加したい」などの感想をいただいています。

なお、諸事情により残念ながら中止となった企画もあり、楽しみにしてくださいました会員の皆様には、改めてお詫び申し上げます。

令和8年度も引き続き、会員の皆様に喜んでいただけるような企画の充実に努めますので、ぜひご活用ください。また、まだ加入されていない法人におかれましては、ぜひ



「ステーキハウス六角堂」で豪華特選和牛を食す金沢日帰りツアー

この機会に入会をご検討ください。

○問い合わせ先

県社協 総務企画課

TEL 076-432-2958



秋の収穫祭り

「シャインマスカット狩り」と「小布施の栗拾い」の旅



フェリーさんふらわあと列車で行く九州の旅

とやま介護テクノロジー普及・推進センターからのお知らせ

# とやま介護テクノロジー展示会2026を開催します!

介護現場を支えるさまざまな介護テクノロジーを体験できる展示会を開催いたします。

見守り機器や記録システムなどを実際に見て・触れて体験できるほか、会場内を巡るスタンプラリーも実施します。また、先着で来場特典をご用意しています。

介護施設・事業所の皆さまはもちろん、地域の皆さまにも広く知っていただきたいと考えています。

どなたでもご来場いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

○日時：令和8年6月6日(土) 10:30～15:00

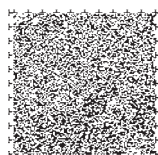
○会場：富山駅南北自由通路(駅構内新幹線・あいの風とやま鉄道改札前)

○主催：富山県、  
県社協富山県福祉カレッジとやま介護テクノロジー普及・推進センター

○入場：無料

○出展：25社程度

○問い合わせ先 県社協 とやま介護テクノロジー普及・推進センター TEL 076-432-6305



## Free Talk フリートーク

人の成長に寄り添うという  
 共通点から見えた福祉の魅力



社会福祉法人  
 セーナー苑 こだまの丘  
 主任  
**押川 義弘さん**

私は、福祉の仕事に人の暮らしに寄り添い、その人らしさを大切にしながら歩みを支える仕事だと感じています。短期大学での実習では、障害のある児童、様々な問題を抱えた児童と関わり、背景の重さや支援者として求められる姿勢について考えるきっかけとなりました。地域生活支援の事業所では、海水浴やドライブの付き添いにボランティアとして参加し、障害のある方々と向き合うことの奥深さに触れ、この道に進みたいという思いが強くなりました。

現在は、知的障害者支援施設で強度行動障害の状態のある利用者の支援を担当しながら、研修講師として人材育成にも携わっています。支援現場では、安心して活動に取り組めるよう環境づくりや声かけを工夫していますが、改善が進まない状況に不安を覚えることもあります。支援の質を高めるためには、職員と組織が同じ

方向を向き、取り組みを評価できる仕組みが必要だと感じています。人材育成では、職員が利用者へのアプローチを主体的に組み立てられる環境づくりを目指しています。意見を共有し、支援を振り返る機会を整えば、職員のモチベーション向上にも繋がると考えています。

プライベートでは、社会人サッカーチームでトレーニングに励み、少年サッカーのコーチとして指導にも携わっています。子供達の真剣な姿や信頼が育つ過程は、私にとって大きな励みであり、支援者としての姿勢を見つめ直すきっかけにもなっています。支えているつもりが、実は自分が支えられていると気づく瞬間も多く、福祉の現場にも良い影響を与えています。人と向き合い、その成長に寄り添うという点で、福祉も指導者も共通しており、私にとって大きなやりがいとなっています。

### ご寄付ありがとうございます

● 寄付者一覧 令和8年2月1日から3月31日まで

● クアトロブーム株式会社 様	車いす 3台
● 株式会社アルト 様	車いす 1台
● 金本聖子 様	10,000円

2月9日(月)、クアトロブーム株式会社様から、本会を通じて、富山型デイサービス3か所(ふらっと、海の風、このゆびとーまれ茶屋)へ車いすの贈呈

3月5日(木)、株式会社アルト様から、本会を通じて、一般社団法人富山型デイサービスまたこれらへ車いすの贈呈

県内の社会福祉事業振興や地域福祉推進のために活用させていただきます。

### 富山県東部生活自立支援センター 移転および相談窓口変更のお知らせ

富山県東部生活自立支援センターは、仕事・生活・家計など、暮らしの困りごとについてご相談いただく窓口です。ひとりで抱え込まずにお気軽に相談ください。秘密は厳守します。

**○対象となる方**  
 舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町にお住まいの方

**○新しい住所**  
 富山県安住町5番21号

富山県総合福祉会館  
 (サンシップとやま)3階  
**○新しい電話番号**  
 076-4403-6415

**○その他**  
 令和8年度より、魚津市・滑川市・黒部市の3市については、各市が主体となって事業を実施することとなりました。現在ご利用中の方も、令和8年4月以降は各市の新しい窓口で対応しています。

### 編集後記

地域や世代間のつながりが薄れつつある中で、福祉教育の重要性は高まっています。「支える・支えられる」といった一方向の関係ではなく、誰もが支え合いながら暮らしていることに気づくきっかけとして、福祉教育が果たす役割は大きいと感じました。より効果的な実践につなげていくためにも、地域における連携の強化と取り組みの広がりが期待されます。

### 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。  
 ●ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>  
 ●メール [info@toyama-shakyo.or.jp](mailto:info@toyama-shakyo.or.jp)

アクセスしてね!  
 ハーティ